

令和7年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第三中学校

全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する	48.8	文学的な文章の、言葉を足掛かりに文脈をたどっていく力は、正答率の高さから、概ねついてきていると考えられる。記号で答える問題に対しては無解答率も低く、分析して正答を選ぶことができる。	「考えを書く」「推敲する」といった基がないところから考える問題の正答率が低く、無解答率の高さも目立った。授業中の書く時間を確保して目的に応じて自分の考えを書き表したり、表現を見直したりする活動の充実を図る。
	手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く	32.2		
	「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそう考えた理由を書く	24.0		
	発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするのか、自分の考えを書く	19.8		
数学	一次関数 $y=6x+5$ について、 x の増加量が2のときの y の増加量を求める	31.4	証明するために、具体例から考えたり、反例を挙げたりして解答する問題の正答率が高く、無回答率が低かった。具体的から抽象的への指導をするとともに、統合的・発展的に考察する指導を徹底していくことが必要である。	関数や図形などの性質を見いだし、統合的・発展的に考察しないと説明できない問題の正答率が低かった。既習内容を相互に関連付けながら問題を解いたり、表現したりする活動を重点的に行っていく。
	$3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する	31.4		
	じゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	79.3		
	四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する	33.9		